



## 子宮下垂！ ー我慢から治す時代へー

子宮下垂とは、子宮が本来の位置より下がる状態です。症状が進むと周囲の膀胱、直腸、小腸などの臓器も一緒に下がってしまうこともあり、総称して骨盤臓器脱と呼びます。

骨盤臓器を支える筋肉や靭帯が緩むことが原因で加齢、重いものを持ち上げる仕事、肥満や便秘など骨盤への負担が強い状態も要因になります。

### 主な症状

- ①膣にものが挟まったような違和感
- ②ピンポン大の硬い塊を触れる
- ③夜間の頻尿、尿意の切迫感
- ④便意を頻回に感じる
- ⑤排便が困難



症状は軽いものの、友達と一緒に温泉に行けないなど恥ずかしい思いをしている方も少なくありません。

### 治療

骨盤底の筋肉を鍛える運動(骨盤底筋体操)を行うことが基本で軽度の尿漏れや子宮下垂を改善できる場合があります。症状が現れている場合は保存的療法(ペッサリー)や手術療法が有効です。

手術は膣から行う場合とお腹から行う場合、あるいはそれを組み合わせる場合があります。最近では侵襲の少ない腹腔鏡下手術(仙骨膣固定術)で行われることが増えています。

症状や年齢に合わせた治療も選択可能な時代になりました。悩まず、我慢しないで症状が進む前に、まずはご相談ください。(産婦人科 : 鈴木 博志)

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせ致します。